工事ステップ図・インフラ計画

【別紙４】

※下記に示す内容は現時点の想定である。詳細は、設計業務開始後、関係行政機関等との協議の上決定するものとする。

STEP①医師住宅・看護師宿舎解体　※別途工事

電 気：病院とは別引込。残置する車庫および倉庫に電源供給を行う。
水 道：病院とは別引込。原則構内道路手前までの撤去。
下 水：構内道路手前まで撤去。看護師宿舎の浄化槽は撤去。
ガ ス ：病院とは別引込。構内道路手前まで撤去。

STEP②新健康センター整備・引越　※別途工事

電 気：引込は別引込を想定。
水 道：引込は別引込を想定。
下 水：－
ガ ス ：－

STEP③ 先行工事：現健康センター解体・汚水本管盛替・附属排水処理施設解体

※今回工事

電 気：現健康センターは、別引込。
水 道：－
下 水：既設汚水本管ルートの盛替え。（濁法の変更含む）
附属排水処理施設への排水管ルートを盛替え。
ガ ス：－
雨水：雨水本管は存置（荷重の掛からない計画とする）

STEP④ 新病院棟整備工事　※今回工事

電 気：新病院に新規で高圧引込し、既存検査棟受変電へ高圧分岐で送り返す計画。
特高受電とならない使用電力にて計画を行う 。
外来診療棟改修時に、既存棟は一部使用する。
通 信：既存サーバー室を新病院へ移設。既存と新病院とのシステムを構築する。
水 道：既存病院と別引込。使用水量想定：310 床×1,000L/床・日＝310m3/日
既存井水を使用するか、新病院用に新たに井水を設けるか、基本設計にて検討を行う。
下 水：病院計画によっては、下水本管の盛替えも必要。
ガ ス：新病院用に新たに引込を計画する。（既存病院に既設の引込あり）
ガス熱源・電気熱源を併用し電力量を抑えた計画
医ガス ：新病院用で新設。
消防設備：新病院用で新設。既存病院との一棟もしくは別棟扱い、監視方法の検討を行う。

STEP⑤ 外来診療棟改修　※今回工事

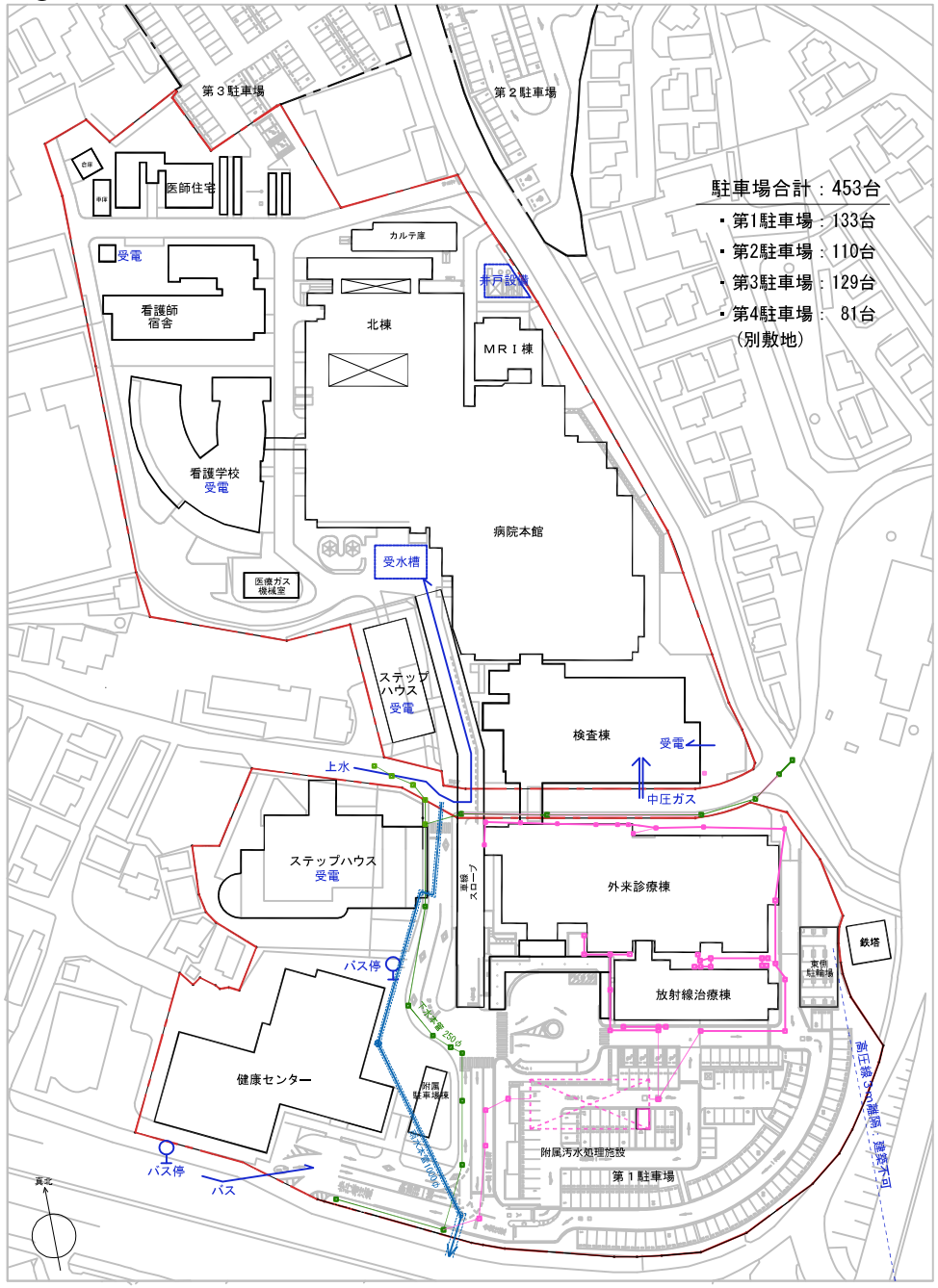
電気：特高受電とならないよう、保守する建物での使用電力を注視する。
外来診療棟への給電を旧受変電から新病院受変電に切り替える。
水道：新病院系統への切替えを行う。
下水：－
ガス：別引込のため、対応は不要。
医ガス：新病院系統への切替えを行う
消防設備：新病院系統への切替えを行う

STEP⑥ 既存棟改修（民間病院等を誘致）　※別途工事

※誘致する内容が未確定のため、想定で記載
電気：市立病院とは別引込を想定。
水道：民間病院等は既存受水槽を活用想定。
既設引込を使用する場合、名義変更が必要。
下水：特定施設の廃止届けが必要。
ガス ：既存引込の名義変更が必要。
既存ガス熱源を使用し、電力量を抑えた計画を行う。
医ガス：契約の変更が必要。

工事ステップ図

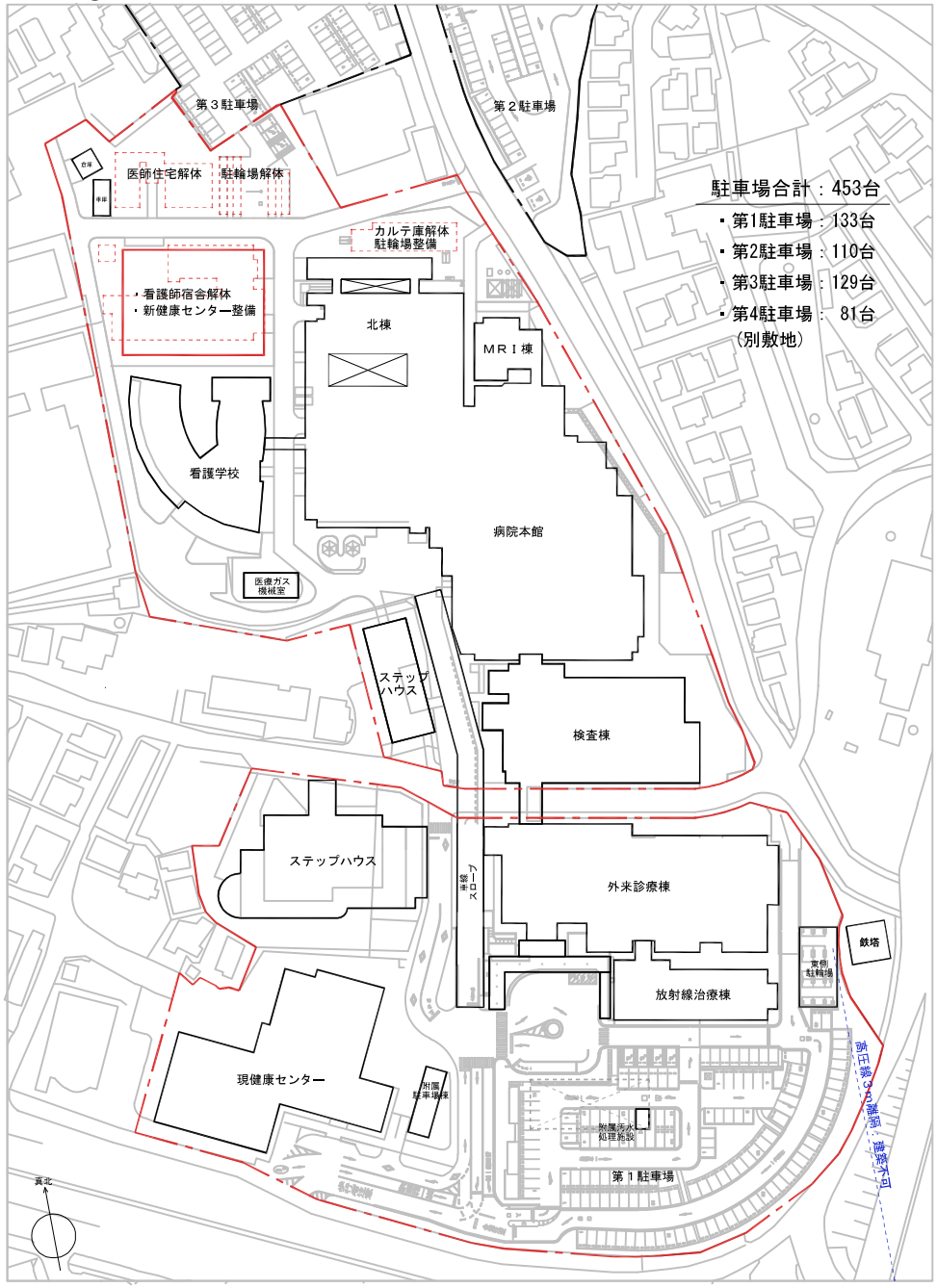
⓪現状



STEP① 医師住宅・看護宿舎解体 ※別途工事

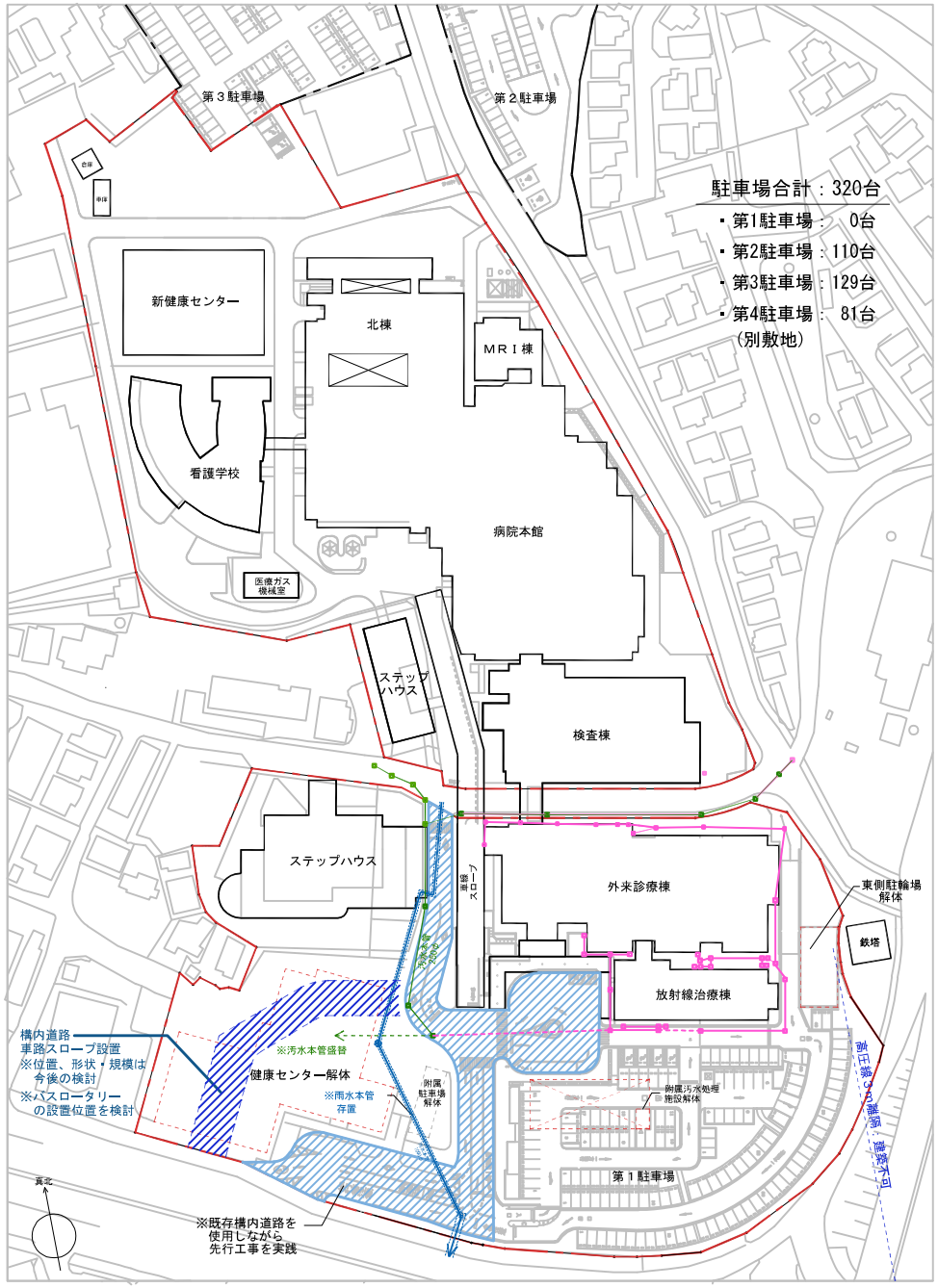
STEP② 新健康センター整備・引越 ※別途工事

【別紙４】



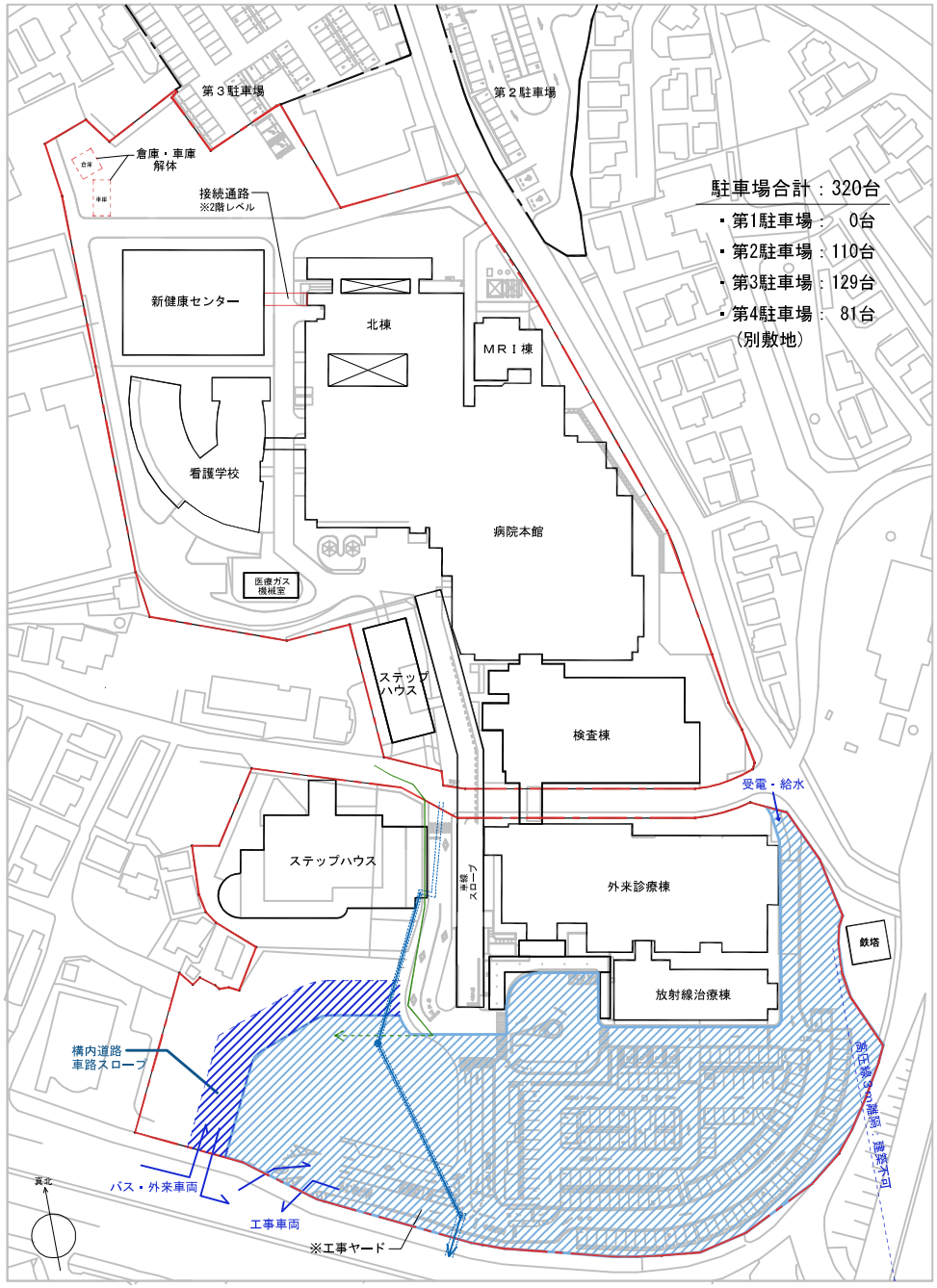
STEP③先行工事

◆現健康センター解体・汚水本管盛替・構内道路整備
◆既存排水管盛替・附属排水処理施設解体　◆東側駐輪場解体

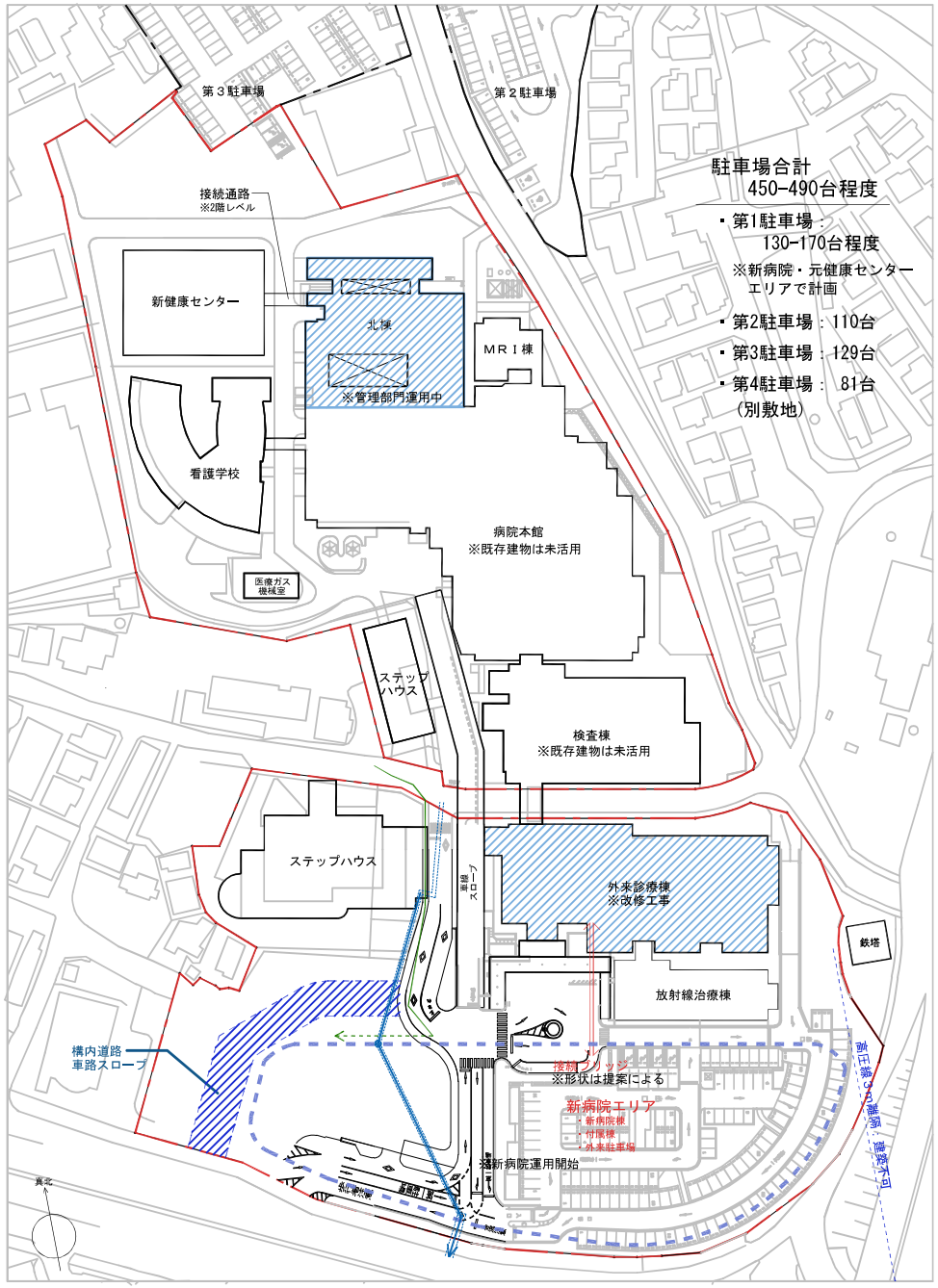


STEP④新病院整備工事・北棟接続通路工事

【別紙４】

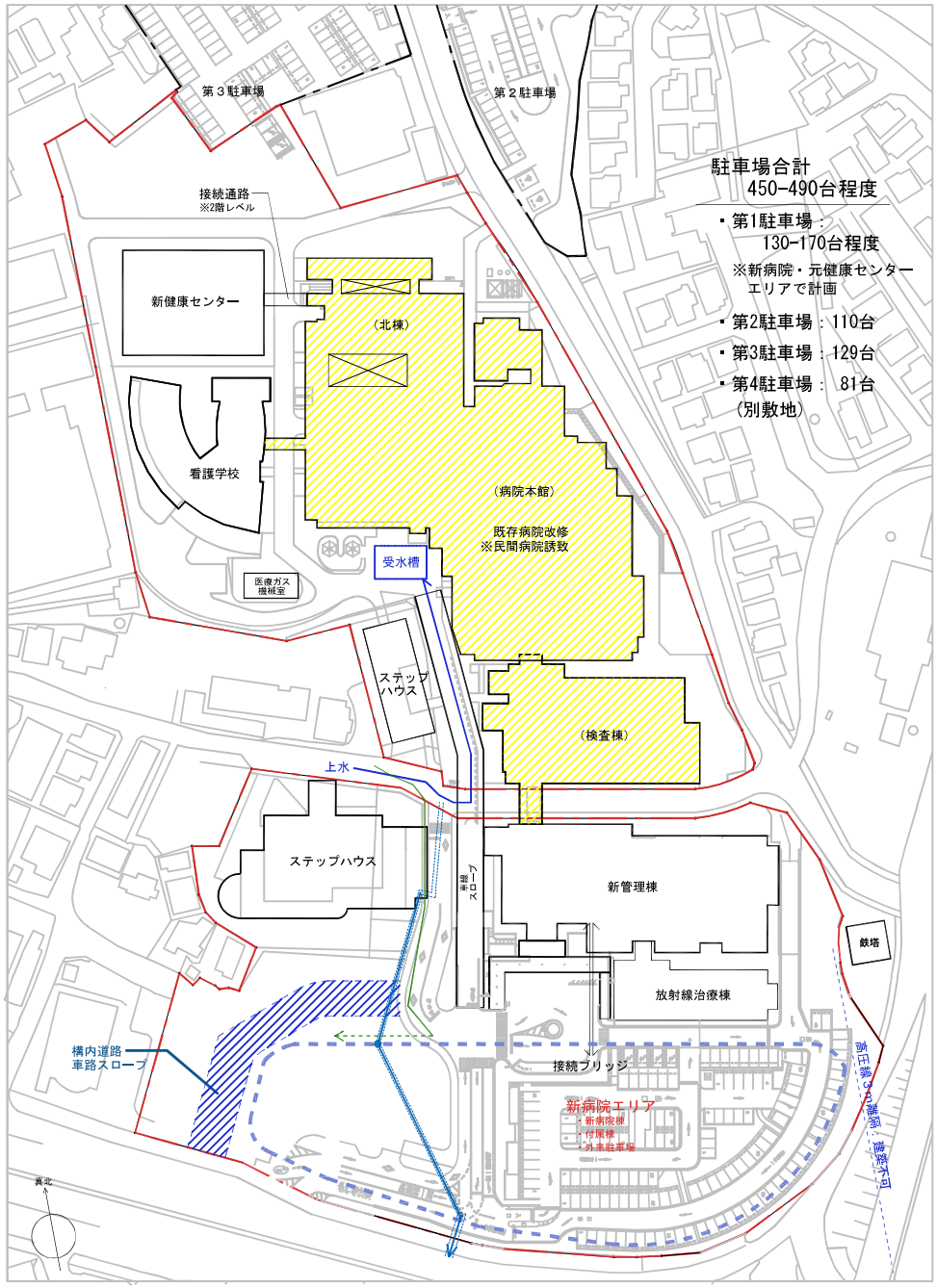


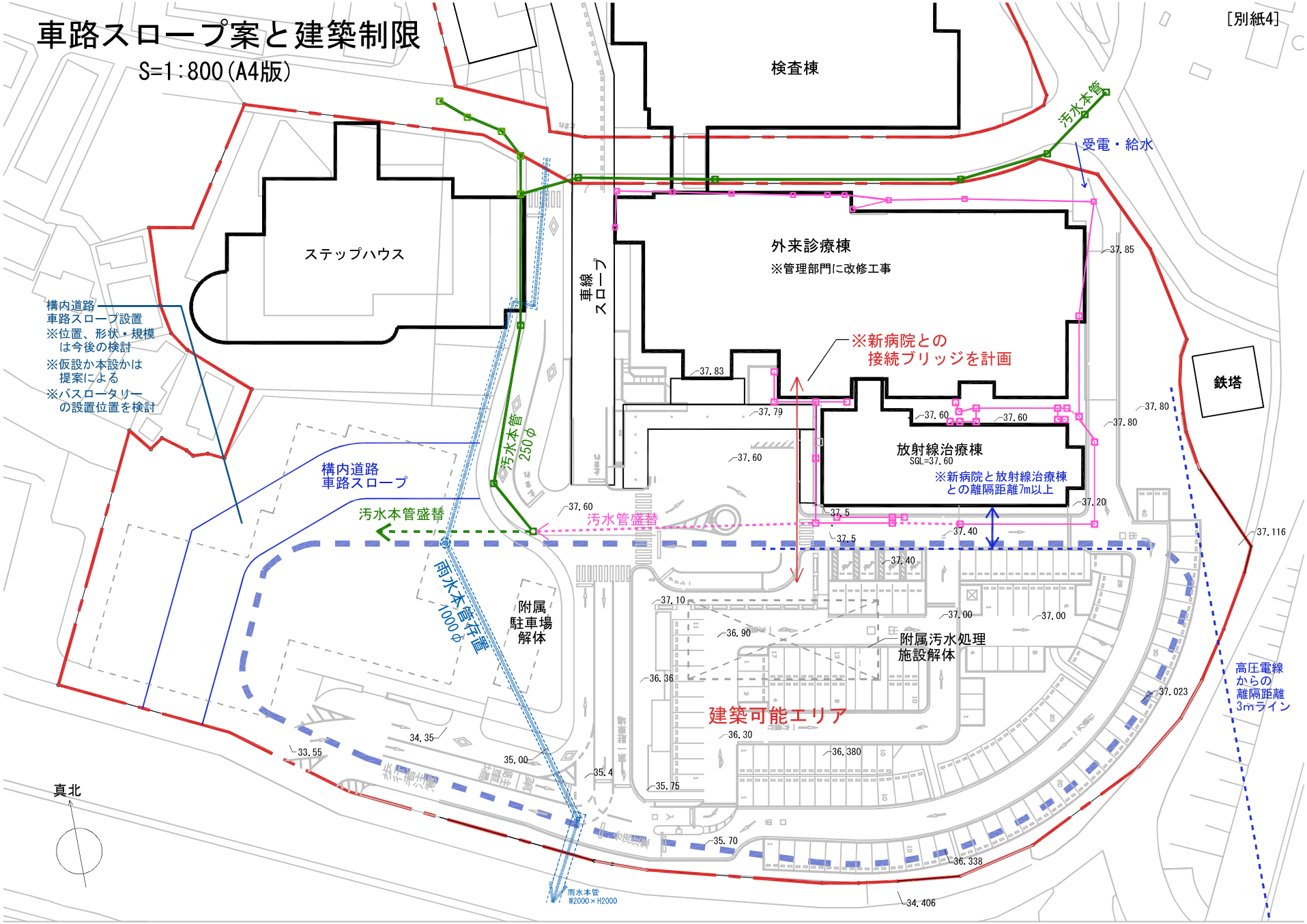
STEP⑤外来診療棟改修



STEP⑥既存棟改修（民間病院誘致）※別途工事

【別紙４】




車路スロープ案と建築制限
S=1:800(A4版)
[別紙4]
検査棟
ステップハウス
外来診療棟
※管理部門に改修工事
車線スロープ
汚水本管
受電・給水
※新病院との
接続ブリッジを計画
鉄塔
放射線治療棟
SGL=37.60
※新病院と放射線治療棟
との離隔距離7m以上
構内道路
車路スロープ設置
※位置、形状・規模
は今後の検討
※仮設か本設かは
提案による
※バスロータリー
の設置位置を検討
構内道路
車路スロープ
汚水本管 250φ
汚水本管盛替
汚水管盛替
雨水本管布設
1000φ
附属
駐車場
解体
附属汚水処理
施設解体
建築可能エリア
高圧電線
からの
離隔距離
3mライン
真北
雨水本管
W2000×H2000
37.83
37.79
37.60
37.85
37.80
37.20
37.5
37.40
37.10
37.00
36.90
36.36
36.30
36.380
37.023
35.75
35.70
36.338
34.406
34.35
33.55
35.00
35.4
37.116

雨水本管・下水本管
断面イメージ

【別紙４】

